

しゃべルーム

SHABELOR's enigmatic chat room

プレイ人数: 3~7人
プレイ時間: 10分
対象年齢: 10歳以上

プロローグ

気が付くと、あなたは見知らぬ部屋の中이었다。洋館を思わせる内装の部屋には豪華な円卓が置かれ、何人かが着席している。

あなたはなぜここにいたのかを思い出しながら部屋を見回していると、部屋の隅に置かれた奇妙な人形を見つけた。その直後、

「やあ。」

奇妙な人形があなたに語り掛けてきた。人形の口につけられたファスナーが、ゆっくり大きく開いていく。

「雑談こそ最高のゲーム、きみもそう思わない?しゃべルームへようこそ。さあ、ぼくとゲームをしよう…。」

内容物

回答カード…21枚 (3枚×7人分)



おしゃべりカード…42枚 (問題面/アイテム面)



ゲームの準備

①各プレイヤーに、同じ模様の回答カードを3枚1セットにして配り、手札とします。

(例)

楕円の模様の回答カード3枚をたろうさんに、四角形の模様の回答カード3枚をはなさんに配りました。



②おしゃべりカードをよく混ぜ、アイテム面を上にして一つの山札にし、テーブルの中央に置きます。

③山札から1枚をめくって問題面にし、横向きに置きます。その下に、3枚のカードをアイテム面のまま並べます。

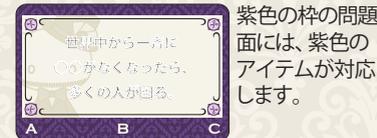


ゲームの流れ その1

①誰かが、カードの問題面に書かれた問題文を声に出して読みます。そして、問題面の枠の色に対応するアイテムの名前を、左から順に読み上げます。

(例)

たろうさんは声に出して、「世界中から一斉に〇〇がなくなったら、多くの人が困る。Aギター、Bエアガン、Cかぜ薬」と読み上げました。

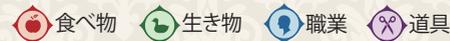


紫色の枠の問題面には、紫色のアイテムが対応します。



■アイコンについて

各アイコンには、次のような意味があります。



ゲームの流れ その2

②各プレイヤーは、「これは1番ではありません。」と言いながら、手札にある3枚の回答カードから1枚を裏向きで手元に置き、捨て札にします。**ゲーム中、手札と捨て札を他の人に見せてはいけません。**

③あらかじめ2~3分程度の制限時間を決めておき、全員で話し合いをします。制限時間を過ぎたら、ただちに話し合いをやめてください。

④各プレイヤーは、「これは1番ではありません。」と言いながら、手札にある2枚の回答カードのうち1枚を裏向きにして手札に置き、捨て札にします。

⑤手札に残した1枚を一斉に公開します。最多数を占める答えを選んだプレイヤー全員が勝利です。ただし、勝利するには**1人以上の敗北者**が必要です。

■勝利判定(7人プレイ時)■

- ・Aが4人、Bが2人、Cが1人⇒Aの勝ち
- ・Aが3人、BとCが2人ずつ⇒Aの勝ち
- ・Aが6人、脱落が1人⇒Aの勝ち
- ・Aが3人、Bが2人、脱落が2人⇒Aの勝ち
- ・AとBが2人ずつ、脱落が3人⇒AとBの勝ち
- ・AとBとCが2人ずつ、脱落が1人⇒AとBとCの勝ち
- ・Aが7人⇒引き分け(勝利ではありません)

ゲームの目的

各プレイヤーは、奇妙な人形「しゃべラー」から出された三択問題の答えをめくって話し合います。

話し合いの後、各プレイヤーは「問題の答えとして最もふさわしい」と思うものを1つ選びます。最多数を占める答えを選んだプレイヤー全員がしゃべルームから脱出することができます。

イベントの発生

山札をめくったとき、いつもと違うカードが出てくることがあります。カードの内容を全員で確認してください。

【問題づくり】

「食べ物」「生き物」「職業」「道具」からジャンルを選び、みんなで問題を作りましょう。問題を作ってから、おしゃべりカードのアイテム面を並べるようにしましょう。

【ひと息スピーチ】

今回は話し合うかわりに、全員が一回ずつスピーチをします。スピーチ中に息つきしたら、ただちに脱落します。

順番はじゃんけんなどで決めてください。

【かたかな禁止】

今回の話し合いでは、外来語や外国語を使用した人は、ただちに脱落します。

「パケツ」など、おしゃべりカードにかたかなで書かれたアイテムは、すべて外来語として扱います。

【かたかな禁止】、【ひと息スピーチ】のカードがめくられた場合は、おしゃべりカードをもう一枚めくり、問題面を置いてください。

遊び方のバリエーション

このゲームをもっと楽しむために、いくつかの遊び方を紹介します。

◆エクストリーム(特におすすめ!)

このルールでは、「**2番目にふさわしいもの**」を決めます。手札を1枚捨てるときには、「これは2番ではありません。」と言います。選択はより難しくなり、話し合いには更なる駆け引きが必要です。ぜひ遊んでみてください。

◆サバイバル

1回負けるごとに、おしゃべりカードを1枚引き取ります。はじめに**3枚引き取った人が敗北**し、ほかのプレイヤー全員が勝利します。負けを決めるルールなので、初対面の人よりも、気心の知れた仲間と遊ぶことがおすすめです。

◆ピースフル

このルールでは、なんと**話し合いをしません**。問題を見たあと、だれかの合図で、1番だと思っカードを一斉に指さしましょう。全員の答えがそろえば脱出成功です。少人数でまったり遊ぶ時におすすめです。

エピローグ

気が付くと、あなたは自分の部屋にいた。

あの部屋で体験した奇妙なゲームは、夢だったのだろうか?

もしもゲームに敗北していたら、ここに戻ってこられたのだろうか?

まだ手に残る3枚のカードの感触を確かめる。

高ぶる気持ちを静めながら、あなたはまぶたを閉じて、眠りについた。

【ゲームデザイン】
シンヤ

【アートワーク】
るいず

【企画】
ジョル

立川駅徒歩5分
ボードゲームカフェ ジョルディーノ
JOLDEENO

製品についてのお問い合わせは、
公式サイトからメールをお願いします。

ジョルディーノの公式サイトはこちら▶

